

手作りのマフラーを被災地へ

～美波町老人クラブ連合会女性部の取り組み～

2月に美波町老人クラブ連合会（会長 橋本博夫）から、女性部（女性部長 羽里敬子）で製作したマフラーを被災地に届けたいとの依頼がありました。そこで、県老連では宮城県老連に連絡を取り、主旨を説明、快く被災地高齢者への伝達を引き受けてもらえることになりました。



このたび、マフラーを受け取った東松島市老人クラブ連合会から、美波町老人クラブ連合会に対し、お礼状が届きましたので紹介いたします（全文）。

拝啓 ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

このたびは、宮城県老人クラブ連合会を通じ、東松島市老人クラブ連合会に手作りのマフラーを頂戴いたしましてありがとうございました。

当市では、津波の浸水地域が居住地域の6割以上となり、仮設住宅に住み、依然として不自由な生活を余儀なくされている方もいます。

そのような中、羽里様をはじめ女性部のみなさんの心遣いは大変ありがたく、活力の源となりました。

頂戴したマフラーは、22日開催の認知症サポーター研修会の折、会員に配布いたしました。まだまだ寒さが続いておりますので、早速活躍することと思います。

被災地復興に目を向けた取り組みに感謝申し上げますとともに、略儀ながら書中をもってお礼申し上げます。

敬 具

平成25年2月22日

美波町老人クラブ連合会

会長 橋本 博夫 様

東松島市老人クラブ連合会

会長 大山 金雄